

職員による自己評価

A環境面

- ・職員配置は基準を満たしている。
- ・事業所自体のビルには、エレベーターも設置されているため、ベビーカーでの来所も可能。また、所内もバリアフリーであるため、保護者の送迎への困難はない。

B児童への支援内容

職員間で、児童についての情報や支援内容を共有している。また、子どもや保護者のニーズに合わせたカリキュラムを設定している。

C関係機関との連携

- ・児童発達支援・放課後等デイサービスの協議会に参加している。
- ・保護者からの希望があった場合には、保育園・幼稚園訪問を実施し、対象児童の情報共有を行っている。

D保護者への説明責任・信頼関係

- ・契約時に運営規定等の説明を行い、文書を渡している。
- ・療育終了後にフィードバックの時間を設け、活動内容や支援内容を伝えている。
- ・ペアレントトレーニング等の専門的な保護者支援は実施していない。

E非常対応

- ・避難訓練は年二回実施。
- ・アセスメント時に、てんかん発作等の子どもの健康状態を確認し、服薬状況については都度保護者と連携を取りながら、職員間で情報の共有を行っている。

保護者による評価

A環境面

- ・教室は開放的な空間になっていて少人数なので、しっかりと活動ができている。
- ・十分な職員数なため安心して通所している。

B児童への支援内容

- ・個別支援計画に基づき支援が行われ、毎回異なる活動がなされている。
- ・幼稚園・保育園訪問を通じて、子どもの情報を共有しながら支援してもらっている。

C事業所からの情報発信

- ・フィードバックや面談時に適切なアドバイスをもらった。
- ・ペアトレ等の講習会の実施を希望。
- ・子どもに対する向き合い方などのアドバイスがほしい。

D非常対応

- ・避難訓練に参加した
- ・教室に緊急時対応マニュアルが掲示してある。

E満足度

- ・とても楽しみに通所している。
- ・先生方が優しく指導してくださると共に色々なトレーニングができて楽しい。
- ・こちらの事業所と縁があって本当に良かった。

事業所内での分析

【共通点】

- ・十分な職員数のため、安心して通所している。
- ・偏った活動カリキュラムにならないような支援ができている。
- ・関係機関（保育園や幼稚園）への訪問を通して、養育者同士で情報共有ができている。

【相違点】

- ・ペアレントトレーニング等の専門的な保護者支援がほしい。
- ・避難訓練の実施をしているのかは不明（契約時期によって参加できていない児童がいる）
- ・「保護者会の実施」は、どちらともいえないと不必要が過半数を超えた。また、「障害のない子どもとの活動機会」では、幼稚園や保育園で交流が持っているため、不必要との意見もあったが、希望者のみでの活動機会もあればよい。との意見もあった。

分析・検討してみて…

事業所の強み

- ・事業所ビル内にエレベーターが設置されているため、小さな児童も不便なく通所できている。
- ・面談時やフィードバックの時間を通して、保護者との情報共有を行いながら、支援を実施している。
- ・5つの支援カリキュラムを基に、偏った支援プログラムにならないような活動計画を立てている。
- ・全職員が療育や発達障害についての社内研修や社外研修に参加し、支援の質の向上を図っている。
- ・療育内容や児童の様子について職員間で毎日情報共有を行っている。

事業所の改善点

- ・専門的な保護者支援の声が多く聞かれたため、実施を検討していく必要がある。
- ・利用児童の低年齢化が見られるため、訓練室等の環境設定の改善が必要である。
- ・HPのブログで、子育てに関する情報や支援方法の掲載をしていること周知していくことを検討。

事業所の改善への取り組み

- ・児童発達支援管理責任者のみならず、児童指導員にも専門的な保護者支援（ペアレントトレーニング等）の実施ができるように前向きに検討していく。
- ・コーナガードの更なる強化やドアガードの設置等、低年齢の児童が過ごしやすい環境設定を行う。
- ・毎月のおたよりを通して、HPの周知やブログの閲覧の案内をしていく。

～自己評価を行っての事業所としての感想など～

利用者様の支えで開所から2年目を迎えることができました。そして、多くの児童が楽しく通所してもらえていることや保護者の方も「大変満足している」「この事業所と縁があって良かった」というお言葉を頂けたことは大変嬉しく思います。

低年齢化が進んでいるため、その年齢層に合わせた環境設定を行いながら、更なる支援の質の向上を図って行きたいと思います。今回の自己評価アンケートを通して、保護者様のニーズを知ることができたため、今後の教室運営の課題として改善を図りながら、より一層よりよい支援ができるように職員一同努めて参ります。

事業所名 オレンジスクールピコ 溝ノ口教室

担当者 管理者 高橋 優

保護者等向け児童発達支援自己評価表（公表）

公表：令和2年3月31日 事業所名：オレンジスクールピコ溝ノ口教室

保護者数（児童数）：25（29）回収数：20 割合：80%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	19	1			・少人数なためしっかりと活動ができています。	今後も利用者に合わせて環境設定を行ってまいります
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	18	1		1	・専門性があるかどうかは不明 ・十分な職員数なので安心	入会時やおたよりを通して職員の紹介を行ってまいります
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	20				・エレベーターがあるため助かる	妹や弟がいるご家族が多く、ベビーカーでの送迎を行う保護者がいるため、ベビーカー置き場の確保を検討してまいります
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	19	1				今後も教室内の環境整備を行ってまいります
適切な支援提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	20					ご家族の面談機会を増やしていき、ニーズを確認していきながら、利用児童の成長に合わせた個別支援計画を作成してまいります
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	19			1		
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	20					今後も個別支援計画を基に児童に合わせた支援を提供してまいります
	⑧	活動プログラムが固定化されないよう工夫されているか	18	2			・毎回異なる活動をしていただきありがたい	今後も様々な活動プログラムを検討していき、支援の質を向上させてまいります
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	必要6	5	不必要5	4	・希望者のみで良い ・通っている園で交流の機会が持っている	希望者のみでの交流機会が実施できるように、前向きに検討してまいります
保護者への説明等	⑩	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	20				・契約時に説明いただいた	通所支援事業に関して、詳しく知らない保護者の方でも安心して利用していただけるように丁寧な説明を行ってまいります
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	20					
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか	必要11	6	不必要1	2	・相談の際に適切なアドバイスをいただいている ・声掛け等の具体的に細かく教えていただいた ・ストレスで子どもにうまく向き合えないこともあるためアドバイス等が欲しい ・ペアトレ講習会などの実施を希望(年2~3回)しかし、下の子がいるため実際は参加が厳しいかもしれない	児童発達支援管理責任者のみならず、児童指導員も専門的な保護者支援(ペアレント・トレーニング)の実施ができるように前向きに検討してまいります
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝えあい、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解が出来ているか	18	2			活動終了後に活動内容の報告を受けている	今後もフィードバックの時間で、活動内容の報告や児童の様子をご家庭と共有してまいります
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	15	5			保育園や家庭での状況を共有し、アドバイスをもらえて助かった。	今後も面談時に育児への助言も含めてお話をさせていただきます
⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	必要3	8	不必要7	2	親同士の繋がりや交流が持てる機会がほしい	必要であるお言葉をご参考にさせていただき、保護者同士での交流が持てる機会の開催を前向きに検討してまいります	

	⑯	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応しているか	19	1		保育園訪問や園との先生との連携により、子どもの支援がより良く進んでいる	今後も希望者のみで園訪問を行い、情報を共有していきながら支援を提供していきます。また、園や関係機関からの見学依頼も受け入れています
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	18	2			
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	15	3	2		毎月一回発行するおたよりを通して、ご家庭へ教室の様子を発信します
	⑲	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	20				今後も個人情報の取り扱いには細心の注意を払って、管理していきます
非常時等の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	17	1	2		契約時に緊急時対応マニュアルの説明も同時に行い、ご家庭に周知していきます
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	15	2	3	・避難訓練に参加したため、実施している	今後も定期的な避難訓練（最低年2回）を実施します。また、契約時期によって訓練に参加できない可能性が高い児童に関しても、日時をずらした上で、利用児童全員が訓練に参加できるように計画をしています
満足度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	19	1		・とても楽しみに通っており、それだけで通所を決めて良かったと感じた ・先生方が優しく指導して下さるとともに色々なトレーニングができて楽しい	嬉しいお言葉をいただけて感謝しています。今後も利用児童が楽しく通所できるような教室運営を行ってまいります
	㉓	事業所の支援に満足しているか	20			・アセスメントや計画等、とても丁寧に対応してくださっている ・先生方の対応も素晴らしい ・こちらの事業所と縁があって本当に良かった。 ・大変満足している	嬉しいお言葉をいただけて感謝しています。今後ご家族に寄り添った支援を提供できるように職員一同精進していきます

○この「保護者向け児童発達支援評価表 集計（公表）」は、保護者の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業者の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

事業者における児童発達支援自己評価表（公表）

公表：令和2年3月31日 事業所名：オレンジスクールピコ溝ノ口教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		法令を遵守しています	今後も法令を遵守します
	②	職員の配置数は適切であるか	○		法令を遵守しています	今後も法令を遵守します
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○		所内はバリアフリー化が完了しています。また、事業所ビルにはエレベーターが設置されているため、保護者の方にもご不便なく送迎していただけています	今後も所内の設備に配慮していきます
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○		毎日所内の清掃を行い、清潔な環境整備を行っています	今後も継続していきます
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○		毎日職員間で目標の設定や振り返りなどのミーティングを行っています	今後も継続していきます
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善に繋げているか	○		保護者の皆様に事業所評価アンケートのご協力をいただき、業務の改善に取り組んでいます	事業所評価アンケートのみならず、面会の際等にもご家族の意向をお聞きしていきます
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○		オレンジスクールピコ溝ノ口教室のHPにて公開しております	今後も公表していきます
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○	現在は、事業所・保護者の二者評価です	今後は必要に応じて第三者評価を検討して参ります。
	⑨	職員の資質を向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		定期的に職員研修を実施しています。	今後も継続していきます
適切な	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○		活動報告、ご面談を踏まえ、モニタリング・個別支援計画を作成しています	今後も継続して利用児童とご家族のニーズを基に作成していきます。
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○		アセスメントシートは、事業所内で統一したものを使用しています	今後も同様のアセスメントシートを使用していきます
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○		現在は、発達支援を中心に支援内容を設定しています	今後は、「家族支援」「地域支援」の支援内容も検討していきます
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○		個別支援計画の作成を行う際は、担当者会議を実施し、職員間で共有をしたうえで支援を提供しています	今後も職員間で共有をしていきます

支援の提供	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		毎日職員間でミーティングを実施しながら活動プログラムを組み立てています	今後も継続していきます
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		週単位でプログラムを設定し、固定化しないように心がけて支援を提供しています	固定化しないように、ミーティングを行っています
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで児童発達支援計画を作成しているか	○		個別プログラムと集団プログラムを分けて設定し、作成しております	児童の状況に合わせた支援計画を作成していきます
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		毎日活動前に職員間でミーティングを行い、確認しています	今後も継続していきます
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		活動終了後に職員間で振り返りを行い、次の支援に繋げています	今後も継続していきます
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		活動内容を課題分析記録票と児童記録の両方に記録をしています。	記録を基に支援の検討・改善に繋げていきます
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○		目標達成が見られた児童に対してはモニタリングを実施しています	今後も必要に応じて見直しの検討をしています
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		児童発達支援管理責任者が参加しております	今後は、子どもの状況に精通している児童指導員も参加いたします
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○		園訪問や療育センターのソーシャルワーカーさんとの電話面談を実施し、連携を行っています	今後も継続して連携をしていきます
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	○	○	受け入れを行っておりません	重症心身障害児を受け入れができる人員確保が困難なため現在受け入れができません
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	○	○	受け入れを行っておりません	重症心身障害児を受け入れができる人員確保が困難なため現在受け入れができません
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		園訪問を実施し、連携を行っています	今後も連携を行っていきます
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○	○	現在は実施していません	今後は希望のご家庭に就学先への情報共有書類を作成していき、お渡しいたします
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		相談支援事業所や療育センターとの連携を行っています	今後も連携を行っていきます
	㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○	○	現在は実施していません	利用時間の関係から交流機会を設ける時間の確保が難しいです。しかし、希望の声があれば前向きに検討していきたいです

連携	⑳	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○		高津区協議会に参加しています	今後も参加させていただきます
	㉑	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		活動終了後にフィードバックの時間を設けており、情報を共有を行っています	今後もご家族と情報共有を行ってまいります
	㉒	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対しての家庭支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか		○	専門的な家庭支援プログラムは実施していません	児童発達支援管理責任者のみならず、児童指導員も専門的な家庭支援(ペアレントトレーニング)の実施ができるように前向きに検討していきたいです
保護者への説明責任等	㉓	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		ご契約の際にご説明を行っています。また、教室にも掲示しております	今後も丁寧にご説明を行ってまいります
	㉔	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○		ご面談時にご説明を行い、同意を得ています	今後も継続してまいります
	㉕	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		ご面談時等に、ご相談があるご家庭にはお話をさせていただいております	今後も保護者の皆様に寄り添った支援を行ってまいります
	㉖	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○	現在は実施していません	現在は実施できておりません。ご要望がある場合は、開催できるように前向きに検討していきたいです
	㉗	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		ご家族のご意見を参考に、迅速に対応できるよう心がけております	今後も継続してまいります
	㉘	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		HPのブログや毎月一回発行するおたよりにて発信しております	今後も継続してまいります
	㉙	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○		個人情報書類は、鍵付き棚で保管しております。また、教室にあるPCにはパスワードを設定しています	個人情報の取り扱いには細心の注意を払って、管理を行ってまいります
	㉚	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		利用児童の特性に合わせた声掛けや保護者様への情報伝達の方法に配慮しています	今後も配慮してまいります
	㉛	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○	現在は実施していません	現在は実施できておりません。ご要望がある場合は、開催できるように前向きに検討していきたいです
	非常時	㉜	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○		事業所内にはそれぞれのマニュアルを策定し、職員間で共有を行っております
㉝		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		年2回、避難訓練を実施しています	今後も定期的な避難訓練(最低年2回)を実施してまいります。また、契約時期によって訓練に参加できない可能性が高い児童に関しても、日時をずらした上で、利用児童全員が訓練に参加できるように計画をします
㉞		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	○		アセスメントシート時にご家族に確認し、職員間で共有をしています	今後も保護者様に確認の上、職員間で共有をしてまいります

等 の 対 応	④④	食物アレルギーのある子どもについて、 医師の指示書に基づく対応がされている か		○	食事、おやつ等の提供は行っていません	今後も提供の予定はございません
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内 で共有しているか	○		日誌にてヒヤリハットの記録を作成し、職 員間で毎日共有を行っています	職員間で周知し、共有を継続していきます
	④⑥	虐待を防止するために、職員の研修機会 を確保する等、適切な対応をしているか	○		事業所内でマニュアルを作成し、研修を実 施しています	今後も虐待防止に努め、職員の研修も継続 して実施していきます
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を 行うかについて、組織的に決定をし、子 どもや保護者に事前に十分に説明し了解 を得た上で、児童発達支援支援計画に記 載しているか	○		ご契約時に、身体拘束の内容に関して十分 説明した了解を得た上で、同意書をいただ いています	身体拘束が発生しないような支援に努めて まいります。しかし、やむを得ず身体拘束 を行った場合はご家族への報告、状況把握 のための記録を記載いたします

○この「事業所向け児童発達支援自己評価 集計（公表）」は事業所全体で行った自己評価です。